

赤城南麓交流村だより

<http://www.hurusato-miyagi.jp>

第二十九回宮城村納涼祭

歌に！踊りに！千七百発の花火だ！



だんべえ踊りでお祭り会場は最高潮！

平成十六年八月一日(日)、宮城村総合運動公園多目的広場を主会場に、第二十九回宮城村納涼祭が開催されました。

今年、フラダンス、フラメンコ、育心保育園と宮城幼稚園の親子遊戯、宮城少年ばやし、そして、みやぎふれあいの郷利用者、婦人会の踊りと、暑い中、みなさん汗びっしょりになりながら踊りを楽しんでいました。

また、大声コンテストでは、次々と新記録が飛び出すと、拍手に笑いに会場は沸きに沸きました。

続いて八木節、そしてよさこい踊りが行われ、よさこい踊りでは、宮城小唄をアレンジした「みやぎよさこい」が初披露されました。宮城オリジナルの歌と踊りが今後楽しみです。

市町村はもちろんのこと、遠くは沼田市からも参加があり、約700人のだんべえ踊りで祭りは盛り上がりでした。(写真)

宮城村納涼祭のラストは打ち上げ花火です。今年は八号玉を含めた約千七百発の花火が宮城村の夜空を飾りました。会場以外でも多くの方が楽しまれたことと思います。



夏の日差しの中・ピンクの花「フヨウ」

「花の村宣言」(平成十四年)を受け、村内の各地で花の村づくりが進められていますが、その一環として植栽されたフヨウが夏の日差しを受けピンク色の花を咲かせています。



宮城村特産品加工研究会おやき部会

夏季限定焼き菓子 「くるみちゃん」



焼きたての「くるみちゃん」と部会のみなさん

「問い合わせ先」
JA前橋市宮城支所 営農経済課
電話〇二七一一八三二二五〇二

宮城村特産品加工研究会おやき部会では、夏季限定の焼き菓子「くるみちゃん」の製造・販売を行っています。
おやき部会では、暑い日でも日持ちの良い無添加のお菓子として、この「くるみちゃん」を考案したものです。
「くるみちゃん」の中には、宮城村産の小豆「大納言」で作った「あん」が入っていて、くるみの香ばしさとあんの甘さがバランス良く、とても上品な味で、お茶の供に最高なお菓子です。
価格は、一パック五個入りで、三〇〇円と大変お手頃な価格で、村内の風の駅やげんじ、風の広場おまえだ、そして、ふれあいの郷農林産物直売所で販売しています。

交流村トピックス

第2回「353の集い」



第2回353の集いの様子

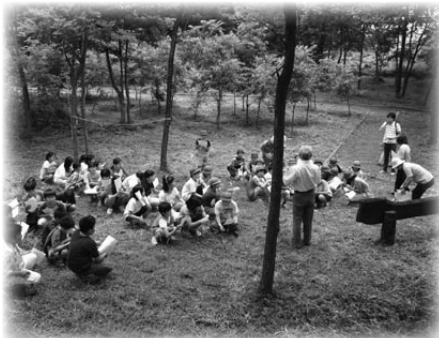
平成十六年七月十二日(月)、ぐんまフラワーパークの北にある、群馬県花とみどりの学習館において、赤城七六会(会長 前原孝至さん)主催による「第2回353の集い」が開催されました。

この353の集いは、国道353号線沿いの市町村の交流を目的に昨年から開催されているもので、今年「スローフードと地産地消での地域づくり」をテーマにして、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

当日は、新潟県柏崎市や湯沢町など国道353号線沿いの各

地から約60名の方が参加し、講師やパネラーの意見に耳を傾けていました。
国道353号線は、群馬県桐生市と新潟県柏崎市を結ぶ道路です。時間をかけて各地の「食」文化に触れてみるのも楽しいかもしれません。

二つの宮城交流



どんぐりの森で説明を聞く足立宮城小のみなさん

平成十六年七月五日(月)、地名が同じ「宮城」ということで交流を行っている東京都足立区立宮城小学校の六年生が宮城村を訪れ、本村の六年生との交流会を行いました。

そして、両校の交流のシンボルである「どんぐりの森」で先輩が植樹したコナラやエノキの

生長観察や里山の自然観察を行いました。



校庭の広さにびっくり!!

赤城南麓交流村だより VOL.2

編集後記

▼夏と言えば必ずどこかのまちやむらでお祭りが行われています▼全国に名の知れているお祭りから小さな地区のまつりといろいろあります▼「ふるさと」意識というのでしょうか、その「まち」や「むら」そのものが祭りの舞台となり、そこに住む人が見えるところに面白さがあるような気がします▼今年の宮城村納涼祭も一面でお伝えしたとおり大盛況の内に終了しましたが、宮城村としては今年が最後の納涼祭です▼来年は?という声も聞かれましたが、七百人のだんべえ踊りを見てましたら、大丈夫だんべえと思ってしまうのも祭りなのかもしれません。